

平成 15 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ミロク情報サービス
代表者名 代表取締役会長兼社長 是枝 伸彦
(コード番号 9928 東証第 2 部)
問合せ先 常務取締役経営管理本長 中谷 研二
(TEL . 03 - 5361 - 6369)

平成 16 年 3 月期 中間期の業績予想の修正及び 有価証券評価損に関するお知らせ

平成 15 年 5 月 16 日の決算発表時に公表いたしました平成 16 年 3 月期 中間期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日) の業績予想を修正するとともに、当社が所有する有価証券につき同期末において評価損を計上することになりましたので、お知らせします。

1 . 平成 16 年 3 月期 中間期業績予想数値の修正

(1) 連結・中間期の業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想 (A)	10,100	580	230
今回修正予想 (B)	9,800	720	250
増減額 (B - A)	300	140	20
増減率	3.0%	24.1%	8.7%
(参考) 前中間期の実績	9,351	301	60

(2) 個別・中間期の業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想 (A)	9,500	540	220
今回修正予想 (B)	9,360	700	260
増減額 (B - A)	140	160	40
増減率	1.5%	29.6%	18.2%
(参考) 前中間期の実績	9,096	293	60

(3) 修正の理由

個別業績予想数値修正の理由

前回の業績予想と比較し、ハードウェア、サプライ用品の売上高の減少により総売上高は減少いたしました。利益率の高いソフトウェア、サービス分野の売上が好調に推移したためプロダクトミックスが改善されました。さらに原価低減努力により、売上総利益率が約 3 ポイント改善されたため、上記のとおり業績予想を修正いたします。

連結業績予想数値修正の理由

個別業績予想数値の修正にともない連結業績予想数値の修正を行うものであります。

2. 平成 16 年 3 月期 通期業績予想数値の修正

(1) 連結・通期業績予想(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A)	20,000	1,200	500
今回修正予想(B)	19,500	1,350	520
増減額(B-A)	500	150	20
増減率	2.5%	12.5%	4.0%
(参考)前期の実績	18,622	899	290

(2) 個別・通期業績予想(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A)	18,500	1,100	450
今回修正予想(B)	18,500	1,300	520
増減額(B-A)	0	200	70
増減率	0%	18.2%	15.6%
(参考)前期の実績	18,088	842	251

3. 平成 16 年 3 月期 中間期末の有価証券評価損

当社では、その他有価証券(財務諸表等規則第 8 条第 21 項に規定する「その他有価証券」をいう)について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価および純資産額が著しく低下した銘柄につき減損処理(有価証券評価損)を行っております。

この度、平成 16 年 3 月期中間期末における有価証券の評価損を算出した結果、下記の通りとなりましたのでお知らせいたします。

(A)平成 16 年 3 月期中間期末の有価証券評価損の総額	84 百万円
(B)平成 15 年 3 月期の純資産の額 (A / B × 100)	8,087 百万円 (1.0%)
(C)最近 5 事業年度の経常利益の平均 (A / C × 100)	769 百万円 (11.0%)
(D)最近 5 事業年度の当期純利益の平均 (A / D × 100)	252 百万円 (33.5%)

注)平成 15 年 3 月期の経常利益及び当期純利益が 10 億円未満のため、有価証券評価損の重要性判定にあたっては最近 5 事業年度の経常利益及び当期純利益の平均(赤字の事業年度については 0 として計算)を用いております。

以 上